製品安全データシート（ＳＤＳ）

作成日：2001年1月19日
改訂日：2025年1月29日

１．　化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称
　鉄取くん
会社情報
　会　　社　　名　　協和商工株式会社
　住　　　　所　　大阪府泉大津市田中町10番7号
　電　話　番　号　　０７２５－２１－５７６７
　ＦＡＸ番号　　０７２５－２１－７８２７
用途と使用上の制限　　自動車用鉄粉除去剤

２．　危険有害性の要約

ＧＨＳ分類
　皮膚腐食性／刺激性　　：区分２
　眼に対する重篤な損傷性／刺激性　　：区分２A
ＧＨＳラベル要素
　シ　ン　ボ　ル　：

　注　意　喚　起　語　：**警　告**
　危険有害性情報　：皮膚刺激
　　強い眼刺激
　注　意　書　き　：
　【 安全対策 】　取扱う際に保護具（保護手袋、保護眼鏡等）を着用すること。
　　取扱い後は、手をよく洗うこと。
　　作業は通気のよい所で行うこと。
　【 応急措置 】　皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。
　【 保　　管 】
　【 廃　　棄 】　環境への避けること。

３．　組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別　　：混合物
成分及び含有量

成分名	含有量（重量%）	ＣＡＳNo.	化審法No.	安衛法No.
チオグリコール酸アンモニウム	２０～２５	5421-46-5	非公開	非該当
アルキルエーテル硫酸エステルナトリウム	＜　0.1	68955-20-4	2-1679	非該当
水	残量			

化審法No.：化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）官報告示整理番号
安衛法No.：労働安全衛生法（安衛法）第57条の2第1項政令指定物質の政令番号

４．　応急処置

吸入した場合
　多量に蒸気・ミスト等を吸い込んだ場合、直ちに空気の新鮮な場所に移し、保温して安静にすること。もし呼吸が不規則な場合や吐き気がする場合は、速やかに医師の診断を受けること。
皮膚に付着した場合
　誤って顔・皮膚に付いた場合、直ちに石けんを用いてよく洗い流すこと。異常があれば医師の診断を受けること。
目に入った場合
　誤って目に入った場合、直ちに清浄な流水で１５分以上洗眼すること。（コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。）洗眼は瞼を指で開き全面に水が行き渡るように洗うこと。異常を感じる場合は直ちに医師の診断を受けること。
飲み込んだ場合
　飲み込んだ場合、直ちに吐かせ、医師の診断を受けること。

5.　火災時の措置

消火剤

水、粉末・二酸化炭素・泡消火剤、乾燥砂が有効である。

特有の危険有害性

二酸化炭素、一酸化炭素を発生させる可能性あり。

特有の消火方法

不燃性ではあるが、周辺火災の場合は速やかに容器を安全な場所へ移す。
移動不可能な場合は、容器および周辺に散水して冷却する。

消火を行う者の保護

適切な保護具（耐熱性着衣、手袋、呼吸保護マスク等）を着用し、当該物の吸入や直接接触を避ける。風上から作業する。

6.　漏出時の措置

人体に対する注意事項

屋内で漏洩した場合は、窓・ドアを開けて十分に換気を行うこと。

保護具及び緊急時措置

作業の際、保護手袋、保護マスク、保護前掛け等を着用する。

環境に対する注意事項

少量の場合は、おがくず、ウエス、砂、紙等を用いて吸着させ、空容器に回収する。その後、漏出区域周辺を多量の水で洗い流すこと。洗浄した水等は、地面や排水溝にそのまま流さないこと。
多量の場合は、土嚢等で流出を防止し、ポンプ等で回収すること。
廃棄物は、関係法規に基づいて処理すること。

7.　取扱い及び保管上の注意

取扱い

労働安全衛生法等の関連法規に準拠して作業すること。
換気の良い場所で使用し、容器はその都度密栓すること。
他の薬品類との混合は行わない。
適切な保護具（保護手袋、保護マスク、保護前掛け、ゴーグル等）を着用する。

保　管

容器は密栓できるものを用いること。遮光性のプラスチック缶が望ましい。
密栓し、風通しの良い冷暗所に保管する。
強酸化剤、強塩基、強酸から離しておくこと。

8.　暴露防止及び保護措置

管理濃度　　規定なし
許容濃度　　日本産業衛生学会　勧告値なし
　　ＡＣＧＩＨ(2002)　勧告値なし

成分名	含有量（重量%）	ＣＡＳ№.	管理濃度（厚生労働省）	許容濃度（産衛学会）	ＡＣＧＩＨ（2002）・ＴＷＡ
チオグリコール酸アンモニウム	２０～２５	5421-46-5	設定なし	設定なし	設定なし
アルキルエーテル硫酸エステルナトリウム	＜　0.1	非公開	設定なし	設定なし	設定なし
水					

設備対策

屋内で取扱う場合は、吸排気が十分に取れる設計にすること。

保護具

呼吸保護具　　必要に応じて防毒マスク（有機ガス用）を使用する。
目の保護具　　必要に応じて保護眼鏡を使用する。
皮膚の保護具　　必要に応じて耐油性手袋、保護前掛けを使用する。
その他　　安全靴を使用する。

9.　物理的及び化学的性質

外観　：　無色透明液体
ｐＨ　：　６．７（２３±５℃）
密度（２０℃）　：　１．１０５ｇ／cm3
臭い　：　有機溶剤臭（チオグリコール酸アンモニウムの不快臭）
溶解度　：　水に溶解

10.　安定性及び反応性

安定性　：　常温では安定、不燃性
危険有害反応可能　：　酸化剤と接触すると反応する。

避けるべき条件 ： 加熱や、禁忌物との接触
混触危険物質 ： 酸化性物質
危険有害な分解生成物 ： 有機溶剤(チオグリコール酸アンモニウム)の蒸気、ガスなど

11. 有害性情報

経口急性毒性
ＡＴＥmix＝18364mg/Kg（ラット） （ＧＨＳ判定基準による。）
混合物として経口急性毒性区分外に分類される。
経皮急性毒性
データが不十分で分類できない。
吸入急性毒性
データが不十分で分類できない。
皮膚腐食性／刺激性
区分３の成分；チオグリコール酸アンモニウム(10～15%)
混合物として皮膚腐食性／刺激性区分３に分類される。
眼に対する重篤な損傷性／刺激性
区分２Ｂの成分；チオグリコール酸アンモニウム
混合物として眼に対する重篤な損傷性／刺激性区分２Ｂに分類される。
呼吸器感作性または皮膚感作性
混合物として呼吸器感作性または皮膚感作性区分外に分類される。
生殖細胞変異原性
混合物として生殖細胞変異原性区分外に分類される。
発がん性
混合物として発がん性区分外に分類される。
生殖毒性
混合物として生殖毒性区分外に分類される。
特定標的臓器／全身毒性（単回暴露）
データが不十分で分類できない。
特定標的臓器／全身毒性（反復暴露）
データが不十分で分類できない。
吸引性呼吸器有害性
データが不十分で分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性
水生環境有害性（急性）
混合物として水生環境有害性（急性）区分３に分類される。
水生環境有害性（慢性）
データが不十分で分類できない。
残留性・分解性
混合物としてのデータがない
生体蓄積性
混合物としてのデータがない
土壌中の移動性
混合物としてのデータがない

13. 廃棄上の注意

事業者は産業廃棄物を自ら処理するか、又は知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合は、そこに委託して処理をする。
容器を廃棄する時は、内容物を完全に除去した後に処分する。
内容物及び容器は、国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国際規制
品名 ： 非該当
国連分類 ： 非該当
国連番号 ： 非該当
容器等級 ： 非該当
海洋汚染物質 ： 非該当
国内規制
船舶安全法 ： 非該当
航空法 ： 非該当
港則法 ： 非該当

消　防　法　：　非該当

安全対策

輸送の際は、容器漏れのないことを確かめ、荷崩れのないように処置を講ずること。
取扱い及び保管上の注意の項に従う。

15.　適用法令

労働安全衛生法　：　名称等を表示すべき危険物及び有害物
名称等を通知すべき危険物及び有害物
令和8年4月1日より労安法対象物質　1%未満のため非該当
6895-20-4　アルキルエーテル硫酸エステルナトリウム

皮膚刺激性有害物質 該当
68955-20-4　チオグリコール酸アンモニウム

化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）　：　該当
アルキル硫酸エステルナトリウム
（アルキル基の炭素数が16から18までのもの及びその混合物に限る。）

毒物及び劇物取締法　：　非該当

水質汚濁法　68955-20-4　チオグリコール酸アンモニウム
アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

都道府県又は市町村条例により規制が異なる場合があるので、詳細は当該自治体にご確認ください。

16.　その他

引用文献

各原料「ＳＤＳ」
GHS分類結果データベース（独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ

備　考

製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取扱う事業者に提供されるものです。
取扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱いなどの実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いします。
従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。